



## file コマンド

---

- [file check](#), 1 ページ
- [file delete\\*](#), 2 ページ
- [file dump\\*](#), 5 ページ
- [file fragmentation sdi\\*](#), 7 ページ
- [file fragmentation sdl\\*](#), 9 ページ
- [file get\\*](#), 11 ページ
- [file list\\*](#), 14 ページ
- [file search\\*](#), 18 ページ
- [file tail\\*](#), 20 ページ
- [file view\\*](#), 21 ページ

## file check

このコマンドは、/usr ディレクトリ ツリー内で、最新の新規インストールまたはアップグレードの後で追加、削除、またはサイズが変更されたファイルまたはディレクトリがないかどうかを調べ、結果を表示します。

**file check** [ *detection-size-kb* ]

---

### 構文の説明

パラメータ	説明
<i>detection-size-kb</i>	ファイルのサイズがこれ以上変化したときに、ファイルが変更されたとして表示される値です。  デフォルト値：100 KB。

---

### コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

システムのパフォーマンスに影響が出る可能性があることが通知され、続行するかどうかは質問されます。削除されたファイルと新しいファイルの両方が表示されます。



### 注意

このコマンドはシステムのパフォーマンスに影響を与える可能性があるため、ピーク時間帯以外の時間にコマンドを実行することをお勧めします。

### 要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：不可

適用対象：Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

# file delete\*

## file delete

このコマンドは、アクティブ側または非アクティブ側のログを削除します。

**file delete {activelog| inactivelog| install} *file-spec* [detail] [noconfirm]**

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログを指定します。
<b>install</b>	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	削除するログのパスとファイル名を指定します。
<b>detail</b>	削除されたファイルと、日付および時刻をリスト表示します。

パラメータ	説明
<b>noconfirm</b>	削除のたびに確認を求めることなくファイルを削除します。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

コマンドを入力した後、確認のためのプロンプトが表示されます。使用中のディレクトリやファイルは削除できません。



### 注意

削除されたファイルは回復できませんが、Disaster Recovery System を使用すれば回復できる場合もあります。

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

# file delete tftp

このコマンドは、TFTP ファイルを削除します。

**file delete tftp *file-spec* [detail] [noconfirm]**

## 構文の説明

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	TFTP ファイル名を表します。
<b>detail</b>	削除されたファイルと、日付および時刻をリスト表示します。
<b>noconfirm</b>	削除のたびに確認を求めることなくファイルを削除します。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

コマンドを入力した後、確認のためのプロンプトが表示されます。使用中のディレクトリやファイルは削除できません。



### 注意

削除されたファイルは回復できませんが、Disaster Recovery System を使用すれば回復できる場合もあります。

### 要件

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

## file delete dir tftp

このコマンドは、TFTP ディレクトリを削除します。

**file delete dir tftp *dir-name* [detail]**

### 構文の説明

パラメータ	説明
<i>dir-name</i>	削除する TFTP ディレクトリを指定します。
<b>detail</b>	削除されたファイルと、日付および時刻をリスト表示します。

### コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

コマンドを入力した後、確認のためのプロンプトが表示されます。使用中のディレクトリやファイルは削除できません。



### 注意

削除されたファイルは回復できませんが、Disaster Recovery System を使用すれば回復できる場合もあります。

**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

# file dump\*

## file dump

このコマンドは、ログやページの内容を一度にダンプします。

**file dump** {**activelog**|**inactivelog**|**install**} *file-spec* [**hex**] [**recent**] [**regexp expression**]

**構文の説明**

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログを指定します。
<b>install</b>	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	ダンプするログファイルの数を表します。
<b>hex</b>	出力を 16 進数で示します。
<b>recent</b>	ディレクトリで最近変更されたファイルをダンプします。
<b>regexp expression</b>	ファイル中の正規表現 <i>expression</i> に一致する行だけを表示します。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル：1

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

**例**

このコマンドは、ファイル `_cdrIndex.idx` の内容をダンプします。

```
admin: file dump activelog cm/cdr/_cdrIndex.idx
```

## file dump sftpdetails

このコマンドは、SFTP コンテキスト内のダンプするファイルを指定します。ダンプするファイルは選択できます。

**file dump sftpdetails**

---

**コマンドモード**

管理者 (admin :)

---

**使用上のガイドライン**

SFTP 関連ファイルをすべてダンプするには、`a` を入力します。このコマンドを終了するには、`q` を入力します。

**要件**

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified CM、Cisco Unity Connection

## file dump tftp

このコマンドは、TFTP ファイルの内容を 1 ページずつ画面にダンプします。

**file dump tftp *file-spec* [page] [detail] [hex]**

---

**構文の説明**

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	TFTP ファイルの名前を表します。
<b>page</b>	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。

パラメータ	説明
<b>detail</b>	日付と時刻をリスト表示します。
<b>hex</b>	出力を 16 進数で表示します。

### コマンドモード

管理者 (admin :)

### 使用上のガイドライン



(注) *file-spec* は、単一のファイルに解決される必要があります。

#### 要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

## file fragmentation sdi\*

### file fragmentation sdi

このコマンドは、SDI ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

**file fragmentation sdi most {fragmented| recent} [ number ]**

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>most fragmented</b>	フラグメンテーションが最も激しいログ ファイルを表します。
<b>most recent</b>	最新のログ ファイルを表します。
<i>number</i>	リスト表示するファイルの数を表します。

### コマンドモード

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

**file fragmentation sdi file**

このコマンドは、SDI ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

**file fragmentation sdi file *filename* [verbose]****構文の説明**

パラメータ	説明
<i>filename</i>	SDI ログ ファイル名を表します。
<b>verbose</b>	画面に関する詳細情報を表示します。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

**file fragmentation sdi all**

このコマンドは、ディレクトリ内のすべての SDI ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

**file fragmentation sdi all *filename*****構文の説明**

パラメータ	説明
<i>filename</i>	すべてのフラグメンテーションの詳細を表示する SDI ログ ファイル名を指定します。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)



**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

## file fragmentation sdl\*

### file fragmentation sdl

このコマンドは、フラグメンテーションが最も激しいSDL ログファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

```
file fragmentation sdl most {fragmented| recent} [ number ]
```

**構文の説明**

パラメータ	説明
<b>most fragmented</b>	フラグメンテーションが最も激しいログファイルを表します。
<b>most recent</b>	最新のログ ファイルを表します。
<i>number</i>	リスト表示するファイルの数を表します。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

### file fragmentation sdl file

このコマンドは、SDL ログ ファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

```
file fragmentation sdl file filename [verbose]
```

## 構文の説明

パラメータ	説明
<i>filename</i>	SDL ログ ファイルのファイル名を表します。
<b>verbose</b>	画面に関する詳細情報を表示します。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

**file fragmentation sdl all**

このコマンドは、ディレクトリ内のすべてのSDL ログファイルのフラグメンテーション情報を表示します。

**file fragmentation sdl all *filename***

## 構文の説明

パラメータ	説明
<i>filename</i>	すべてのフラグメンテーションの詳細を表示するファイル名を表します。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

# file get\*

## file get

このコマンドは、SFTP を使用して別のシステムにログを送信します。

**file get** {**activelog**|**inactivelog**|**install**} *file-spec* [*reltime*|*abstime*] [**match** *regex*] [**recurs**] [**compress**]

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログを指定します。
<b>install</b>	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	転送するファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数   時間数   日数   週数   月数   の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
<b>match</b> <i>regex</i>	ファイル名の中で、 <i>regex</i> で指定される特定の文字列との一致を検索します。
<b>recurs</b>	サブディレクトリを含め、すべてのファイルを取得します。
<b>compress</b>	ファイルを圧縮ファイルとして転送します。

### コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

指定したファイルが特定された後、SFTP ホスト、ユーザ名、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

### 要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

適用対象：Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

### 例

この例では、オペレーティングシステムの `activelog` ディレクトリ内で文字列「`plat`」に一致するすべてのファイルを取得します。

```
admin: file get activelog platform match plat
```

この例では、特定の期間内のすべてのオペレーティングシステム ログ ファイルを取得します。

```
admin: file get activelog platform/log abstime 18:00:9/27/2005 18:00:9/28/2005
```

## file get salog

このコマンドは、SFTP を使用して `partBsalog` または `salog` ディレクトリを別のシステムに送ります。

**file get {partBsalog| salog} file-spec [reltime| abstime] [match regex] [recurs] [compress]**

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>partBsalog</b>	<code>partBsalog</code> ディレクトリを指定します。
<b>salog</b>	<code>salog</code> ディレクトリを指定します。
<i>file-spec</i>	転送するファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数   時間数   日数   週数   月数   の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間

パラメータ	説明
<b>match</b> <i>regex</i>	ファイル名の中で、 <i>regex</i> で指定される特定の文字列との一致を検索します。
<b>recurs</b>	サブディレクトリを含め、すべてのファイルを取得します。
<b>compress</b>	ファイルを圧縮ファイルとして転送します。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

指定したファイルが特定された後、SFTP ホスト、ユーザ名、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

### 要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

## file get tftp

このコマンドは、SFTP を使用して別のシステムに TFTP ファイルを送信します。

**file get tftp** *file-spec* [*reltime*|*abstime*] [**match** *regex*] [**recurs**] [**compress**]

## 構文の説明

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	転送する TFTP ファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数   時間数   日数   週数   月数   の時間の値で指定される相対時間の期間

パラメータ	説明
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
<b>match</b> <i>regex</i>	ファイル名の中で、 <i>regex</i> で指定される特定の文字列との一致を検索します。
<b>recurs</b>	サブディレクトリを含め、すべてのファイルを取得します。
<b>compress</b>	ファイルを圧縮ファイルとして転送します。

#### コマンドモード

管理者 (admin :)

#### 使用上のガイドライン

指定したファイルが特定された後、SFTP ホスト、ユーザ名、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

#### 要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

## file list\*

### file list

このコマンドは、使用できるログ ディレクトリ内のログ ファイルをリスト表示します。

**file list** {**activelog**|**inactivelog**|**install**} *file-spec* [**page**|**detail**|**reverse**] [**date**|**size**]

## 構文の説明

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログを指定します。
<b>install</b>	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	ログファイルの名前を指定します。
<b>page</b>	出力を一度に1画面ずつ表示します。
<b>detail</b>	詳細なリストと、日付および時刻を表示します。
<b>reverse</b>	ソートの方向を逆にします。
<b>date</b>	ファイルを日付でソートします。
<b>size</b>	ファイルをサイズでソートします。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン

## 要件

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

**例：ログ ファイルの詳細**

この例では、オペレーティング システム ログ ファイルの詳細がリスト表示されます。

```
admin: file list activelog platform/log page detail
```

**例：CDR リポジトリ内のディレクトリ**

この例では、CDR リポジトリ内のディレクトリがリスト表示されます。

```
admin: file list activelog cm/cdr_repository
```

**例：サイズに基づく CDR ファイル**

この例では、指定したディレクトリ内の CDR ファイルがサイズに基づいてリスト表示されます。

```
admin: file list activelog cm/cdr_repository/processed/20050812 size
```

**file list salog**

このコマンドは、partBsalog または salog ディレクトリをリスト表示します。

```
file list {partBsalog|salog} file-spec [page|detail|reverse] [date|size]
```

**構文の説明**

パラメータ	説明
<b>partBsalog</b>	partBsalog ログ ディレクトリを指定します。
<b>salog</b>	salog ログ ディレクトリを指定します。
<i>file-spec</i>	リスト表示するファイルへのパスを指定します。
<b>page</b>	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。
<b>detail</b>	詳細なリストと、日付および時刻を表示します。
<b>reverse</b>	ソートの方向を逆にします。
<b>date</b>	ファイルを日付でソートします。
<b>size</b>	ファイルをサイズでソートします。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)



**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

**file list tftp**

このコマンドは、TFTP ファイルをリスト表示します。

**file list tftp** *file-spec* [**page**|**detail**|**reverse**] [**date**|**size**]

## 構文の説明

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	TFTP ファイルの名前を指定します。
<b>page</b>	出力を一度に 1 画面ずつ表示します。
<b>detail</b>	詳細なリストと、日付および時刻を表示します。
<b>reverse</b>	ソートの方向を逆にします。
<b>date</b>	ファイルを日付でソートします。
<b>size</b>	ファイルをサイズでソートします。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

# file search\*

## file search

このコマンドは、ログの内容を検索し、一致した行を一度に 1 ページずつ表示します。

**file search** {**activelog**|**inactivelog**|**install**} *file-spec* [*reltime*|*abstime*] [**ignorecase**]

### 構文の説明

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログを指定します。
<b>install</b>	インストール ログを指定します。
<i>file-spec</i>	検索するファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数   時間数   日数   週数   月数   の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
<b>ignorecase</b>	大文字と小文字の違いを無視して検索します。

### コマンドモード

管理者 (admin :)

### 使用上のガイドライン

検索条件は正規表現の形で記述します。正規表現とは、検索パターンを表す特殊なテキスト文字列です。

検索条件が1つのファイル内にもみ見つかった場合は、そのファイル名が出力の一番上に表示されます。検索条件が複数のファイル内にもみ見つかった場合は、出力の各行の先頭に、一致がみつかったファイルの名前が示されます。

#### 要件

コマンド特権レベル：0

アップグレード時の使用：可能

## file search tftp

このコマンドは、TFTP ファイルの内容を検索し、一致した行を一度に1ページずつ表示します。

**file search tftp** *file-spec* [*reltime*|*abstime*] [*ignorecase*]

#### 構文の説明

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	検索する TFTP ファイルの名前を指定します。
<i>reltime</i>	分数   時間数   日数   週数   月数   の時間の値で指定される相対時間の期間
<i>abstime</i>	hh:mm:MM/DD/YY hh:mm:MM/DD/YY で指定される絶対時間の期間
<i>ignorecase</i>	大文字と小文字の違いを無視して検索します。

#### コマンドモード

管理者 (admin :)

#### 使用上のガイドライン

検索条件は正規表現の形で記述します。正規表現とは、検索パターンを表す特殊なテキスト文字列です。

検索条件が1つのファイル内にもみ見つかった場合は、そのファイル名が出力の一番上に表示されます。検索条件が複数のファイル内にもみ見つかった場合は、出力の各行の先頭に、一致がみつかったファイルの名前が示されます。

**要件**

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

## file tail\*

### file tail activelog

このコマンドは、ログ ファイルをテイル（最後の数行を出力）します。

**file tail** {**activelog**|**inactivelog**|**install**} *filespec* [**hex**] [*lines*] [**regexp** *expression*]**構文の説明**

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログを指定します。
<b>install</b>	インストール ログを指定します。
<i>filespec</i>	ファイルへのパスを指定します。 <b>filename</b> では、1 つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。
<b>hex</b>	リストを 16 進数で表示します。
<i>lines</i>	表示する行数を指定します。
<b>regexp</b> <i>expression</i>	<i>expression</i> と一致するログ ファイルをテイルします。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル : 1

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM の IM and Presence サービス、Cisco Unity Connection

**例**

この例では、オペレーティング システムの CLI ログ ファイルがテイルされます。  
 admin: file tail activelog platform/log/cli00001.log

**file tail tftp**

このコマンドは、TFTP ファイルをテイル（最後の数行を出力）します。

**file tail tftp** *filespec* [**detail**] [**hex**] [*lines*]

## 構文の説明

パラメータ	説明
<i>filespec</i>	ファイルへのパスを指定します。 <b>filename</b> では、1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。
<b>detail</b>	日付および時刻を含む長いリスト
<b>hex</b>	リストを 16 進数で表示します。
<i>lines</i>	表示する行数を指定します。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

**要件**

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

**file view\*****file view**

このコマンドは、ログ ファイルの内容を表示します。

**file view** {**activelog**|**inactivelog**|**install**} *file-spec*

## 構文の説明

パラメータ	説明
<b>activelog</b>	アクティブ側のログファイルを指定します。
<b>inactivelog</b>	非アクティブ側のログファイルを指定します。
<b>install</b>	インストール ログ ファイルを指定します。
<i>file-spec</i>	表示するファイルへのパスを指定します。1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。

## コマンドモード

管理者 (admin :)

## 使用上のガイドライン



## 注意

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。

## 要件

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Unified CM (IM and Presence あり)、Cisco Unity Connection

## 例

この例では、アクティブ側の特定の CDR ログを示します。

```
admin: file view activelog /cm/cdr_repository/processed/20058012/{filename}
```

## file view system-management-log

このコマンドは、Integrated Management Log (IML) の内容を表示します。

**file view system-management-log****コマンドモード**

管理者 (admin :)

**使用上のガイドライン****注意**

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。

**要件**

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection

**file view tftp**

このコマンドは、インストール ログの内容を表示します。

**file view tftp *file-spec*****構文の説明**

パラメータ	説明
<i>file-spec</i>	表示するファイルへのパスを指定します。1つのファイルを表す場合に限り、ワイルドカード文字 * を使用できます。

**コマンドモード**

管理者 (admin :)

**使用上のガイドライン****注意**

このコマンドは、バイナリ ファイルを表示するためには使用しないでください。ターミナルセッションが終了することがあります。

**要件**

コマンド特権レベル : 0

アップグレード時の使用 : 可能

適用対象 : Unified CM、Cisco Unity Connection